

第41回北海道小学生陸上競技大会 競技運営マニュアル

日程：令和5年(2023)7月17日(月)午前9時 競技開始

会場：苫小牧市ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場

競技審判・大会役員集合時刻 午前7:30

1 選手練習終了時刻 午前8:15 2 競技審判打ち合わせ 午前8:00

3 開会式(簡易) 午前8:30

一 開式宣言

一 大会長挨拶 一般財団法人北海道陸上競技協会会長 丸 昇

一 競技開始宣言 トラック競技審判長 万年和紀

一 閉式宣言

4 競技開始 午前9:00

5 閉会式(簡易) 午後3:30頃予定

一 開式宣言

一 優秀競技者章発表(5・6年各学年男女1名) 一般財団法人北海道陸上競技協会会長 丸 昇

一 審判長講評 フィールド競技審判長 伴 俊行

◆本大会は、2023年度公益法人日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童(小学生)である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

【全 体】

1 競技会当日(17日)は、競技場の開門は、午前7:00(要項記載)とする。競技場の使用は次の通りとする。

・午前7:00～午前8:15までとする。

2 決勝競技終了後、トラック競技はマーシャル(Marshal:場内指令)及び表彰係が連携し、フィールド競技は、担当審判員が責任をもって1位～3位までの入賞者を表彰待機場所まで誘導する。4位～8位までの入賞者には、エントランスホールに賞状を取りに行くよう指示する。

※1位～3位までの入賞者は第二コーナー付近の表彰場所(雨天時エントランスホール)で表彰。表彰ではメダルのみ授与する。賞状はエントランスホールに取りに行くよう指示する。4位～8位の入賞者は、エントランスホールにて賞状を受け取る。※表彰後写真撮影を可能とする。4位～8位までの写真撮影は、外で行うよう指示をする。

3 スタートリスト・次ラウンド進出者は、競技者係(管理棟前)の掲示板に貼り出す。

※予選通過者・決勝進出者以外の掲示は原則行わない。プログラム表紙のQRコードで結果確認。(要項記載)

4 各競技に必要な用具は、用器具係と協力し設置する。競技終了後は、全ての用器具を器具庫に戻し整頓すること。(他協会の審判員も協力体制であることから、苫小牧陸協の審判員が主になり返却場所を伝える)

5 補助員の控は管理棟横のテントとする。補助員係が各競技審判員に補助員配置を伝達する。

6 トランシーバーを携帯する審判員は、電源を忘れずに入れ、常に連携がとれる状態を保つこと。

【トラック競技】(一部フィールドを含む)

1 競技者係

(1) 一時点呼として、スタートリストに○をつける。招集終了時刻になったらアスリートビブス(ビブス)を提示させ、種目・組・レーン(試技順)を確認する。一時点呼をしていない選手は、基本的に当該種目を棄権したものとみなすが、最終点呼に現れた場合は出場の意思を確認の上、救済する。

※要項記載事項(選手招集所での点呼の方法)

- ・招集開始時刻になったら、トラック選手は競技者係の机の上にある腰ビブスを選手自ら取り付ける。(自分のレーンナンバーを間違わないように指示)
- ・招集完了時刻になったら、招集所に集合点呼を受ける。競技者係が選手を誘導する。

(2) 一時点呼をしている選手が、招集終了時刻になっても確認できない場合は、最後まで確認に努める。何らかの理由により遅れた場合は、総務員と競技者係主任とで連絡を取り合い、可能な限り救済する。

(3) 点呼終了後、スタートリストをコピーし記録・情報処理係、アナウンサーに配布する。

(4) リレー競技のマーカ―は、主催者側で用意をし、使用は一か所とする。使用したマーカ―は、そのチームできちんと処理をする。

(5) 選手の誘導について

- 1) 800m・400mR リレー(混合含)の第1走者⇒管理棟横通路から競技場に入り、所定の場所へ誘導する。
- 2) 1500m・走高跳・400mR リレー第2走者⇒管理棟横通路から競技場に入り、トラック外側を通りながら所定の場所へ誘導する。
- 3) 100m・80mH・ジャベリックボール投・砲丸投・走幅跳・400mR 第4走者⇒管理棟横通路から競技場に入り、トラック外側を通りながら所定の場所へ誘導する。
- 4) 400mR リレー第3走者⇒管理棟横通路から競技場に入り、トラック外側を通りながら所定の場所へ誘導する。

2 記録・情報処理係

(1) リザルト配布について

トラック種目：総務(1)、トラック審判長(1)、ジュリー(1)	通告、表彰
フィールド種目：総務(1)、フィールド審判長(1)、ジュリー(1)	通告、表彰

・コンバインド種目の得点は【JAAF 小学生コンバインド種目得点表(2023年度版)】による。

3 出発係

(1) 出走の確認方法(トランシーバーを使用)

- 1) スターター ⇔ 写真判定(インカム)
- 2) スターター ⇔ 出発係(合図)
- 3) 出発係 ⇔ アナウンサー

(2) 800m、リレー競技については、各組毎にレーンナンバー標識台・スターティングブロックを撤去する。

4 マーシャル

(1) TR6. 競技者に対する助力に対する指導。ホームストレート前両サイド(走幅跳)、第3・第4コーナー中間(砲丸投・ジャベリック)、第2・第3コーナー中間(走高跳)に「コーチ席」(TR6.4.1)を設ける。競技の進行の邪魔にならない配慮。

(2) トラック競技においては、フィニッシュ後、速やかにミックスゾーン(退場口)に速やかに誘導する。

(3) フィールド競技の入退場については、フィールド審判員と連携して行うこと。

(4) 取材エリアの指導を行う。

5 監察員

- (1) ルール違反は、レース後、監察員が「黄旗」を挙げる。失格などについては、トラック審判長の判断になるので、各監察員の判断で選手に指導しない。
- (2) ルール違反があった場合は、監察員記録用紙にその旨を記入し主任に渡す。及びトランシーバーで連絡し、主任から審判長に状況を伝える。
- (3) リレー競技では、各コーナーの監察員とトラック審判長は、トランシーバーを持ち違反の確認を監察主任が行い、違反の有無・状況を監察員記録用紙に記入し、トラック審判長に報告する。及びトランシーバーで連絡し主任から審判長に状況を伝える。
- (4) 800mでは、第2曲線路の終わりでブレイクラインの通過を確認する。また、ブレイクラインマーカーの設置・撤去を行う。

6 周回記録員

- (1) 最後の1周を知らせる鐘は、先頭の競技者がフィニッシュライン手前10mぐらいに近づいた時から約3秒間鳴らす。先頭以外の競技者には、最後の1周を知らせる鐘は2~3回鳴らす。(800m以上)
- (2) 2人1組になり1人が競技者の先頭から順次ナンバーを読み、他の1人が周回記録用紙に記入する。(1500m)

【フィールド競技】

- 1 走幅跳はホームストレートと並行したピット、砲丸投は第4コーナー、ジャベリックボール投は、第3第4コーナー中間点、走高跳は、第2・第3コーナー中間のフィールド内で競技を行う。
- 2 選手の練習は、試技順に最低2回行う。練習・試技共に危険防止には十分留意する事。
- 3 アスリートビブス(ビブス)は、胸または背につけるだけでもよい。
- 4 走幅跳・ジャベリックボール投の試技は3本とする。コンバインド種目の走幅跳・ジャベリックボール投の試技は2本とする。また、コンバインド種目の走高跳は一回の高さに2回の試技とする。トップ8は行わないので、記録・順位の確認には十分留意すること。
- 5 競技場所の変更は、フィールド審判長の判断によりその指示を仰ぐ。ただし、その変更は1つのラウンド(ある高さや試技回数)が終わった後とする。